

中学 1、2 年生と保護者のみなさんへ (大阪府教育委員会 平成 28 年 3 月)

現中学 2 年生が受験する平成 29 年度入学者選抜 (以下「入試」という。) からの
大阪府の公立高等学校等の入試の変更点をお知らせします。

■ 高等学校

・「英語」の学力検査問題が変わります。

- 英語の学力検査で使用する英単語は、大阪府教育委員会が作成する英単語集から出題します。
- 学力検査※の「発展的問題」は、問題文のすべてを英語で作成します。

学力検査※: 「国語、数学、英語」の学力検査問題は、次の中から高校ごとに選びます。

- 特別選抜: 2 種類 (基礎的問題、標準的問題)
- 一般選抜: 3 種類 (基礎的問題、標準的問題、発展的問題)

・「英語」の学力検査で外部検定のスコア等に応じた点数保障を導入します。

- 英語の外部検定 (TOEFL iBT、IELTS、実用英語技能検定 (以下「英検」という。)) のスコア等が、一定レベル以上の場合、出願時に申請すれば、学力検査「英語」で以下の点数が保障されます。(当日の学力検査の点数が、保障する点数を上回る場合は、学力検査の点数が採用されます。)

英語の外部検定のスコア等			学力検査「英語」 における点数の 読み替え率	学力検査「英語」で保障される点数	
TOEFL iBT	IELTS	英検		特別選抜 (45 点満点)	一般選抜 (90 点満点)
60～120 点	6.0～9.0	準 1 級	100%	45 点	90 点
50～ 59 点	5.5	(対応なし)	90%	41 点	81 点
40～ 49 点	5.0	2 級	80%	36 点	72 点

・調査書の評定について、各学年についてそれぞれ府内統一ルールがあります。

◆中学 1 年生のルール (平成 30 年度選抜を受験する人から適用されます。)

中学 2 年生のルール (平成 29 年度選抜を受験する人から適用されます。)

中学 1 年生、2 年生の大阪府全体の評定の公平性を保つため、各中学校等では評定を定める際、1 月に受けるチャレンジテストの結果が、大阪府教育委員会が作成する「評定の範囲」にあるかどうかを確認します。

※例: 現在中学 2 年生の A さんの国語の調査書の評定を、それまでの学習状況をもとに「3」と判断する際には、各中学校等では下表の「評定の範囲」をもとに、A さんのチャレンジテストの結果が「70～22 点」に入っていることを確認します。

平成 27 年度 第 2 学年 国語	評定 5	評定 4	評定 3	評定 2	評定 1
評定の範囲	100～46 点	82～35 点	70～22 点	55～8 点	45～0 点

◆中学 3 年生のルール (平成 29 年度選抜を受験する人から適用されます。)

3 年生全員のチャレンジテストの平均点をもとに、各中学校等の「評定平均*の範囲」を決定します。各中学校等の 3 年生全員の全教科の評定の平均が「評定平均の範囲」に収まるように、各生徒の個人の評定を決定します。(評定平均*: 3 年生全員の 9 教科の評定を平均した値)

■ 高等支援学校

・知的障がい高等支援学校が、府内全域から受験できるようになります。

- たまがわ高等支援学校、とりかい高等支援学校、すながわ高等支援学校、むらの高等支援学校、なにわ高等支援学校のいずれも、府内全域から受験できるようになります。

＜大阪府公立高等学校等の平成 29 年度入試日程＞

特別選抜 (2 月)

- ◆出願期間: 平成 29 年 2 月 14 日 (火)・15 日 (水) (音楽科は、2 月 1 日 (水)・2 日 (木))
- ◆学力検査等: 平成 29 年 2 月 20 日 (月)・21 日 (火) ◆合格者発表: 平成 29 年 2 月 28 日 (火)

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制	工業に関する学科 (建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科)・美術科・体育に関する学科・芸能文化科・演劇科・音楽科・総合造形科	5 教科 (国語・社会・数学・理科・英語*) *リスニングテストを含む。	実技検査
全日制	総合学科 (エンパワメントスクール)		面接 (*)
多部制 単位制	I 部・II 部 (クリエイティブスクール) 普通科		
昼夜間 単位制	普通科・ビジネス科		

(面接 (*): 自己申告書と調査書中の活動/行動の記録を面接の参考資料にするもの)

一般選抜 (3 月)

- ◆出願期間: 平成 29 年 3 月 2 日 (木)～6 日 (月) (ただし、3 月 4 日 (土)・5 日 (日) を除く。)
(通信制の課程は、3 月 3 日 (金)～6 日 (月) (ただし、3 月 4 日 (土) を除く。))
- ◆学力検査等: 平成 29 年 3 月 9 日 (木) ◆合格者発表: 平成 29 年 3 月 17 日 (金)

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制	すべての学科 (特別選抜を行う学科を除く。)	5 教科 (国語・社会・数学・理科・英語*) *リスニングテストを含む。	—
定時制	すべての学科 (昼夜間単位制を除く。)	3 教科 (国語・数学・英語*) *リスニングテストを含む。	—
多部制 単位制	III 部 (クリエイティブスクール) 普通科		
通信制	普通科	—	面接 (*)

(面接 (*): 自己申告書と調査書中の活動/行動の記録を面接の参考資料にするもの)

その他の入学者選抜 (2 月 ※一部例外あり)

◆特別選抜の日程に準じて実施します。

選抜名	検査項目
帰国生選抜	学力検査 (数学・英語)・面接 (**)
中国等帰国外国人生徒選抜	学力検査 (数学・英語)・作文 (日本語以外可)
中高一貫選抜	小論文・面接 (*)
自立支援選抜	面接 (***) (保護者同伴)
共生推進教室選抜	面接 (***) (保護者同伴)
知的障がい高等支援職業学科選抜	面接 (***) (保護者同伴)・適性検査
秋季選抜 (平成 29 年 9 月中旬に実施)	基礎学力診断検査 (3 教科)・面接 (***)

(面接 (*): 自己申告書と調査書中の活動/行動の記録を面接の参考資料にするもの)
(面接 (**): 自己申告書を面接の参考資料にするもの)

二次選抜等 (3 月下旬)

合格者数が募集人員を満たさなかった場合に実施します。

- ◆出願及び面接日: 平成 29 年 3 月 22 日 (水) ◆合格者発表: 平成 29 年 3 月 24 日 (金)

選抜名	検査項目
高等学校 二次入学者選抜	面接 (*)
自立支援・共生推進教室補充選抜	面接 (***) (保護者同伴)
知的障がい高等支援職業学科補充選抜	面接 (***) (保護者同伴)・適性検査

(面接 (*): 自己申告書と調査書中の活動/行動の記録を面接の参考資料にするもの)
(面接 (**): 自己申告書を面接の参考資料にするもの)

FAQ（よくある質問と回答）



大阪府教育委員会が作成した英単語集は、どの高校の入試で必要ですか？

- A. 大阪府の公立高校の「英語」の学力検査では、基礎的問題・標準的問題・発展的問題のいずれでも、この英単語集にある単語を使用します。受験生の皆さんは、英語の学習に、この単語集を使ってください。（平成 28 年 3 月末までに市町村教育委員会を通じて、各中学校等にお送りします。また、大阪府教育委員会のウェブページにも掲載します。）



英語の「外部検定のスコア等」は、いつ何をどこに提出すればよいの？

- A. 出願の準備をする時に、外部検定のスコア等を証明する公式証明書の原本を中学校等に提出します。中学校等は、そのコピーを作成し、内容が間違いないことを証明しますので、その書類を出願時に志願書と一緒に志願先高等学校に提出してください。



英語の「外部検定のスコア等」で申請できるのは、いつ取得したもの？

- A. 取得した時期について定めはありません。つまり、数年前に取得したもので、出願の直前に取得したもので、本人が取得したものなら有効です。



「外部検定のスコア等」を申請すれば、英語は学力検査を受けなくても大丈夫？

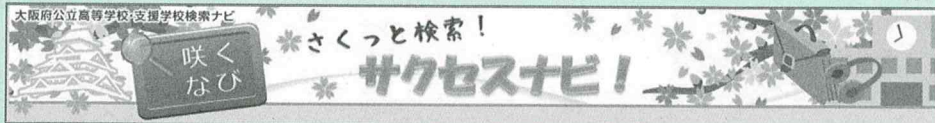
- A. 「外部検定のスコア等」を申請した場合でも、学力検査「英語」の受験は必要です。受験しなかった場合は、学力検査未受験となり不合格とします。学力検査を受験したうえで、「学力検査の点数」と「外部検定のスコア等」に応じて最低保障される点数」とを比べ、高い方の点数を学力検査「英語」の点数とします。

- ・大阪府教育委員会の Web ページには、過去の入試問題や高等学校のこと等の情報が満載！
- ・出願書類や学力検査の時間割等は、10 月に公表 & Web ページへの掲載をする予定です。

咲くナビ

検索 Click!

大阪府公立高等学校・支援学校検索ナビ「咲くナビ」 <http://www.schoolnavi.osaka-c.ed.jp/>



「外部検定のスコア等」に応じた点数保障は、問題の種類によって変わるの？

- A. どの英語の学力検査問題でも、保障される点数は同じです。例えば、英検 2 級取得者であれば、「基礎的問題」「標準的問題」「発展的問題」のうち、どの問題を受験しても、特別選抜なら 36 点、一般選抜なら 72 点が保障されます。



チャレンジテストは、何のためにやるの？

- A. 「チャレンジテスト」は、中学生を対象にした大阪府内統一のテストです。このテストは、中学生の皆さんが自分の学習状況を正しく知り、目標を持って学習に取り組むことを目的に実施します。加えて、調査書の評定の決定にあたって、公平性が保たれるように、このチャレンジテストの結果を使います。

*チャレンジテストの実施時期・教科

学年	実施時期	対象教科
1 年生	1 月	3 教科：国語・数学・英語
2 年生	1 月	5 教科：国語・社会・数学・理科・英語
3 年生	6 月	5 教科：国語・社会・数学・理科・英語



チャレンジテストの点数だけで、調査書の評定が決まるの？

- A. 皆さん一人ひとりの調査書の評定は、授業、宿題、テストなど、中学校等における皆さんの頑張りをもとに中学校等が決定するものです。チャレンジテストの点数は、入試で使う評定が、府内のどの中学校等でも公平につけられるよう、府内統一のルール（「評定の範囲」や「評定平均の範囲」）の中で使うことにしています。

*チャレンジテストを使った府内統一ルールと調査書の評定の関係

学年	府内統一ルール	ルールの使い方
1・2 年生	評定の範囲	生徒個人のチャレンジテストの点数が「評定」に対応した「評定の範囲」に収まっていることを確認
3 年生	評定平均の範囲	各中学校等全体の「評定平均」が、各中学校等全体の「評定平均の範囲」に収まっていることを確認



教育委員会事務局教育振興室 〒540-8571 大阪市中央区大手前 2 丁目
電話：高等学校課 06 (6944) 6887、支援教育課 06 (6944) 6890

このリーフレットは 177,500 部作成し、一部当たりの単価は 2 円です。